

第 21 回スポーツクライミング北海道選手権大会 《リード競技》

兼 第 63 回札幌市民体育大会山岳競技(スポーツクライミング)

兼 第 13 回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会北海道予選会

開催要項

今大会では北海道強化指定選手選考を行いません。後日対象大会開催予定です。
また今大会より条件付きの有観客開催とします。観戦希望の方は下記の注意事項をよく読み、当日必要書類をご持参ください。

主催：北海道山岳連盟 北海道高等学校体育連盟 札幌市 一般財団法人札幌市スポーツ協会
主管：北海道山岳連盟競技委員会 北海道高等学校体育連盟登山専門部 札幌山岳連盟
協賛：北海道山の店 秀岳荘(依頼中)

期 日：2022年11月 13日(日)

会 場：北海道科学大学・体育館 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

カテゴリー：・男子 ・女子(オンサイト・リード方式)
・ビギナー (トップロープ方式・大会エントリー初めての方が対象)
※ 各カテゴリーに参加年齢制限はありません

定 員：各カテゴリー合計 50名程度

参加資格：1. クライミング経験者で安全に競技ができること。
2. 未成年者(18歳以下)は保護者の同意が必要(申込用紙に保護者署名、捺印)。
3. スポーツクライミングに適用される傷害保険に加入していること。

参加費：4,000円 ※ 参加費は当日会場でお支払い下さい

競技日程：リード競技《予選1本、決勝1本》 (スタッフ集合 7:00)

受付 8:00~8:40 開会式・競技説明 9:00~

競技開始 9:40~ 表彰式 16:00~

※ 日程はあくまで暫定です。競技の進行により前後する可能性があります。

表 彰：それぞれのカテゴリーごとに成績優秀者を表彰する。さらに札幌市民については、札幌市民体育大会として上位入賞者を表彰する。

全国大会代表選手の選考

：今大会は第13回全国高等学校選抜クライミング選手権大会北海道予選会を兼ねており、参加選手のうち高校生についてはジュニア男女上位各2名を全国大会に推薦する。

参加申込み：参加申込書を郵送、FAX、E-mailいずれかの方法で受付します。E-mailの場合は参加申込書を添付して下さい。競技に関する質問も下記にて受付します。
また男子及び女子にエントリーされる方は、当日『個人ロープ申請書』を提出して下さい。

〒006-0015 札幌市手稲区富丘 5 条 5 丁目 3-13 長井 洋子 宛
FAX: (011) 683-7827 TEL: (090) 1640-3393
E-mail: hiroke-n14@d8.dion.ne.jp
申込み締切り : 2022 年 11 月 2 日(水)必着 (期日厳守)

- 注意事項** : **今大会から有観客で行います。必ず下記の《新型コロナウイルス感染症拡大防止対策》をご確認下さい。特に【健康チェック】関連は厳しく管理致します。不備がありましたら会場への出入りは出来ません。**
- ・ 参加選手・選手帯同者・観客及び当日大会役員は大会 2 週間前(2022 年 10 月 30 日から記録)より体温測定、咳、咽頭痛、倦怠感の有無などを別紙「健康チェック表」に記録し、大会当日受付にて提出して下さい。
 - ・ 参加選手・選手帯同者・観客及び当日大会役員は当日受付でマスク着用の確認、体温測定、健康チェックを行います。また選手帯同者・観客には受付時『入場許可証』をお渡ししますので、会場内では必ず所持して下さい。
 - ・ 会場では 3 密にならないよう、間隔を空けて観戦して下さい。
 - ・ 会場内ではマスクの着用を徹底して下さい。
 - ・ 会場は体育館の為、上履きが必要です。必ずご用意下さい。
 - ・ 飲食物は各自で用意して下さい。また飲食の共有はご遠慮下さい。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場内の換気を定期的に行います。寒くなりますので暖かい服装・上着などを着用して下さい。
 - ・ ゴミは各自でお持ち帰りください。
 - ・ 大声での声援は控えて下さい。
 - ・ 選手及び選手帯同者の会場入口は体育館東入口となります。当日、会場入口の掲示をご確認下さい。なお、正面玄関から入場した選手及び選手帯同者は失格となりますのでご注意ください。
 - ・ 観客の方は正面入口から入場可能です。その場合、選手及び選手帯同者とは予選競技終了まで接することは出来ません。
 - ・ 競技時の傷害、疾病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負いません。万一の事故に備えて傷害保険に加入しておくなど対策を講じて下さい。

《新型コロナウイルス感染症拡大防止対策》 ※ 必ず熟読して下さい

1. 新型コロナウイルス感染の徴候が無いが、参加選手・選手帯同者・観客及び当日大会役員は大会 2 週間前より体温測定、咳、咽頭痛、倦怠感の有無などを別紙「健康チェック表」に記録し、大会当日受付にて提出して下さい。また大会終了後も 2 週間記録してもらいます。
2. 参加選手・選手帯同者・観客及び当日大会役員は受付にてマスク着用の確認、体温測定、健康チェックを行います。以下の症状及び状況がある場合は、会場への入場を禁止致します。
 - ・ 37.5 度以上の発熱、咳や咽頭痛の症状が続いている。
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。
3. 会場に入る方はマスクを各自持参し、参加選手は競技中以外常時着用して下さい。マスクの廃棄はご自宅をお願いします。
4. 装備について ※ トップロープ競技のロープは主催者側で用意します。
 - a. リード競技に使用するロープは、感染症防止の観点から選手個人のロープを使用しますので、各自持参して下さい。持参していただくロープの使用可能規格は PSC、EN892、UIAA に適合しているシングルロープで、長さは 40m 以上、呼び径(太さ)9.0mm~10.0mm とします。選手は受付時にロープを提出してチェックを受けて下さい。
なお、以下に当てはまるロープは安全上問題があるため使用出来ません。

- 通常クライミングでは使用しない化学物質(酸、バッテリー電解液など)に触れたことがある
 - 芯が見えている
 - 外皮が激しく毛羽たっている、損傷している
 - 外皮と芯がズレている
 - 部分的に固くなったりまたは柔らかくなったりして他の部分と違和感がある部位が生じている
 - 長い墜落や落下係数 1 を超える墜落を受けた
- ※ 落下係数 1 を超える墜落: クライマーの墜落距離 ÷ ビレイヤーとクライマー間のロープの長さ

クライマーが 4m 登ったところで 4m 墜落した場合、落下係数 = $4 \div 4 = 1$ となる

- ひどく汚れているもの
- 摩擦による熱や火などの熱を受けたことがある
- 毎週の使用で 1 年以上経過しているもの
- 月 1~3 回の使用で 3 年以上経過しているもの

※ 国立登山研修所編 確保理論より

- b. チョークバック、ハーネス、クライミングシューズなどの装備貸し借りも禁止します。チョークは液体チョークを推奨します。
- c. 選手はマットや椅子の感染防止として各自タオルなどを持参し、上に置いて使用すること。主催者側では用意しません。
5. 会場はスタッフ専用エリア、競技エリア、観戦エリアに分類されています。選手はアイソレーション(ウォームアップゾーン)、トランジット、コールゾーン、競技エリア対して3密防止及びソーシャルディスタンスを実施して下さい。
 6. 選手はウォームアップの前後手洗い、消毒を行うこと。手洗いは 30 秒以上行ってください。ウォームアップエリアには、アップ待機場所が用意されているので、ソーシャルディスタンスを取って下さい
 7. 選手および選手帯同者は会場から離れる際(競技終了後や一時的に離れる際も含む)、必ず会場管理担当スタッフに一声掛けてから退出して下さい。また選手帯同者は『入場許可証』を返却して下さい。再入場の際はマスク着用の確認、体温測定、健康チェックを再度行います。
 8. 会場内での飲食は極力個別に行ってください。やむを得ない場合はソーシャルディスタンスを保ち、他人と対面で相対しないように注意し、会話は極力控えること。飲食物を手にする前には手洗い、消毒を行うこと。飲み物の回し飲みは禁止とする。
 9. 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場内の換気を定期的に行います。季節柄寒くなりますので暖かい服装・上着などを用意して下さい。
 10. ゴミは各自お持ち帰り下さい。特にマスク、鼻水、唾液、血液などが付着したゴミは、すばやくビニール袋に入れて密封して下さい。
 11. 「接触確認アプリ(COCOA)」のインストールを推奨致します。
 12. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力頂けない場合、及び遵守事項が守られない参加者は会場より退出していただきます。
 13. その他質問のある方は、北海道山岳連盟競技委員会大会運営担当 長井までご連絡下さい。
(TEL: 090-1640-3393 E-mail: hiroke-n14@d8.dion.ne.jp)

第 21 回スポーツクライミング北海道選手権大会
兼 第 63 回札幌市民スポーツ大会山岳競技（スポーツクライミング）
個人持込ロープ 仕様申請書

種 別	男子 ・ 女子 *該当するものに○して下さい	フリガナ 選 手 名	
	メーカー		
	購入時のロープ径（呼び径）		mm
	購入時のロープ長		m
	現在のロープ長：		m

【個人持込ロープに関する条件(大会要項/要領に記載)】

- ロープはシングルで、の使用可能規格は PSC、EN892、UIAA に適合していること
- 長さは 40m 以上、呼び径（太さ）9.0mm～10.0mm とする。（IF 基準による）
 なお、以下に当てはまるロープは安全上問題があるため使用出来ません
 - 通常クライミングでは使用しない化学物質（酸、バッテリー電解液など）に触れたことがある
 - 芯が見えている
 - 外皮が激しく毛羽たっている、損傷している
 - 外皮と芯がズれている
 - 部分的に固くなったりまたは柔らかくなったりして他の部分と違和感がある部位が生じている
 - 長い墜落や落下係数 1 を超える墜落を受けた
 ※ 落下係数 1 を超える墜落：クライマーの墜落距離÷ピレイヤーとクライマー間のロープの長さ
クライマーが 4m 登ったところで 4m 墜落した場合、落下係数=4÷4=1 となる
- ひどく汚れているもの
- 摩擦による熱や火などの熱を受けたことがある
- 毎週の使用で 1 年以上経過しているもの
- 月 1～3 回の使用で 3 年以上経過しているもの （国立登山研修所編 確保理論より）

※ この申告書は、選手受付時に提出して下さい。

※ 「現在のロープ長」は、「購入時のロープ長」と同じ値を記入するか、ロープの末端部分の切断等で購入時よりもロープ長が短い場合は、おおよその実測値を記入して下さい。